

（今年、古事記編纂1300年）

# 地域発「比婆山」を 活かす取り組み

比婆山は、日本最古の歴史書「古事記」に、イザナミノミコトが葬られたと記されている伝説の山です。比婆道後帝釈国定公園の一角を成す比婆山連峰の豊かな自然を求めて、毎年多くの登山者が訪れます。

「古事記」編纂1300年の今年、比婆山をまちの将来に生かそうと、さまざまな地域発の取り組みが行われています。

## 神話の里くまので交流事業

7月28・29日の2日間、「神話の里くま」の「地区では「イザナミ様に会いに行こう」と題してグリーンツーリズムが行われました。これは、熊野地域住民が自ら作成した都市住民との交流プログ

ラムに基づいて企画したもので

ます。この地区では「おはなし会ダンボ」が創作紙芝居「天の岩戸」を上演し、登山の途中、地元の演劇サークルが寸劇を演じて応援しました。

神話の里くまの岡田操会長は「多くの協力を得て今年この行事を実施できてよかったです。今後は地元がもっと企画力、実践力を身に付けていきたい」と今後の抱負を語っています。

地域住民と来訪者が冊子「比婆山へ」の招待（※）を参考に、比婆山登山を通じて交流を深め、熊野神社前のイザナミ茶屋で地元の食材を使った食事が提供されました。

熊野神社拝殿で行われた座学では、「おはなし会ダンボ」が創作紙芝居「天の岩戸」を上演し、登山の途中、地元の演劇サークルが寸劇を演じて応援しました。

神話の里くまの岡田操会長は「多くの協力を得て今年この行事を実施できてよかったです。今後は地元がもっと企画力、実践力を身に付けていきたい」と今後の抱負を語っています。

今年、古事記や比婆山に関する取り組みを行った人や団体、地域の多くが、神々の物語を生み出した郷土の豊かな自然や、受け継いできた歴史、文化のすばらしさを改めて感じたと話しています。

西城町自治振興区連絡協議会の堂本時和会長は「比婆山登山をはじめ、地元のガイドができる人材の育成講座を企画するなど、地域内外の団体などとも連携し、生涯学習での学びを地域づくりに生かすしくみを考えていきたい」と展望を語っています。

## 比婆山を学ぶ「比婆山講座」開催

2012.12 16



### ※古事記編纂1300年記念

#### 「比婆山への招待」

西城地域の住民ワークショップ、西城円卓会議の比婆山プロジェクトが、地元地域住民と協働して比婆山連峰の見どころをまとめた冊子で、今年春に発行。登山のガイドブックとしてはもちろん、学習教材としても広く活用されており、西城支所やひろしま県民の森などで販売しています。



広報